

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年9月

事業所名 放課後等デイサービス虹の丘

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	支援室・学習室と分け切り替えができるようにしている。	十分に活動できる場所ではあるが、情緒面で個別のスペースが欲しい時に余裕のスペースが無い事が課題。
	2	職員の配置数は適切であるか	常に資格を持った職員を配置している。	個別対応が必要な場合に職員数が足りないと感じる時がある。それでも子どもたちの気持ちに寄り添うことを大切にしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされているか	トイレは車椅子も利用できるようにスペースが十分にあり。	段差がある部分はスロープを付けるか検討をしたが、余計に危険が生じると判断し現状を維持している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日朝礼の時にPDCAを振り返り、子に応じた支援の仕方や内容を振り返っている。	支援の仕方を共有して、全職員が同じ対応をすることができるようにしていくことが課題。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	管理者から職員に伝達、改善するように努力している。	より良くしていくために何が大切か全員で考えていくことを大切にしていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公表している。	ホームページをたくさんの方に見て頂けるように伝えていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	いつでも評価を行ってもらえる状態にしている。	まだ第三者の評価を行っていないが、今度行った場合は結果をしっかりと受け止め改善を行いたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	多くの研修機会があるため、なるべく参加し、資質向上に努めている。	研修の内容を職員に周知し、全員が資質向上できるようにしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者の方とお話する機会を設け、課題等を把握し、その上で支援計画を作成している。	アセスメントの内容で職員にも周知する必要がある場合は必ず伝え、全員が共通理解できるようにしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	指定されたアセスメントツールを使用している。	アセスメントツールを基に、適応行動の状況を適切に図れるよう丁寧に行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	改善を基に、全員で立案している。	活動内容によって継続していくものと変化していくもの等を工夫し立案していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	他の施設のプログラムを参考にしたり子どもの状態、関心、ニーズを考えて立てている。	楽しくできる活動を積極的に取り入れていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	子どもの置かれた状況を把握し、支援を行っている。	特に長期休暇はきめ細かな支援ができるよう、子どもたちとの関わり方を大切にしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	その子を知るため、職員同士で意見交換し支援計画を作成している。	個別と集団を組み合わせ作成している。子の状況を丁寧に把握することに努めていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	前回の反省点や意図などを話し合っている。	支援内容は十分に話し合っているが、役割分担についてはさらに確認していく必要がある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	予想したことや違った場合など反省している。	その日に伝えなければならない事は必ず伝えていく事は今後も続けていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	利用した子どもの様子をできるだけ詳しく記録するようにする。	全職員が子どもたちの行動について考えて次に繋げられるよう、裏の思いまで記録することをこれからも努めていきたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的に支援会議を行い支援計画の見直しを行っている。	今後も支援会議を重点に置き、子に応じた成長を見極め、計画作成を丁寧に行いたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	基本活動を基に支援を行っている。	ガイドラインの内容を全職員が理解して支援に望めるようにしていく。話し合う機会を作りたい。

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児発管が参加している。	知り得た内容は全職員に伝達するよう心掛けている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	送迎時に情報交換ができるよう心掛けている。	さらに情報共有できるように、学校との連絡を大切にしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現時点で医療的ケアが必要な子どもはいない。	今後必要とする子が出てきたときは保護者の方や主治医の方と連絡が取れるよう体制を整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	情報共有するまでに至っていないのが現状。	自治体の福祉の仕組みの中へ入れ込んで、相互に積極的に進めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	まだ卒業した利用者がいない。	今後卒業する利用者は出てくるので情報を確実に提供できるよう準備しておく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	研修がある時には必ず参加している。	助言と言う面では、特別な時だけでなく、日常的なスムーズな連携や一緒にやっていくというスタンスを確立していく努力をする。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	慣れない場所へ行く事で不安定になる利用者もいるため、実現できていないのが現状。	長期休暇などに時間を確保し、交流が行えるような環境を整えていく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	必ず出席し、様々な立場の方の話を聞いたり、意見交換している。	参加した時には、必要な情報は職員に伝え、地域の施設としての心構えができるように努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳や送迎時、そしてアセスメント等保護者には様子等伝える事を大切にしている。	今後も子どもたちが安心して過ごせる場所になるよう、保護者の方との意思疎通を重要視していきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	会社を通じて、ペアレントトレーニングの研修が行われている。	たくさんの保護者の方に参加して頂けるよう促していく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に必ず説明を行っている。	契約時に内容を分かりやすく伝えることを心掛けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	本人や兄弟に関する事などにも相談に乗り、一緒に考えることを大切にしている。	本人のみならず、兄弟姉妹の悩みも聞くことで保護者の方の気持ちに寄り添えるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	丘caféを定期的で開催し、保護者同士が話せる場を提供している。	ざくばらんに話せる機会を設けているため、この機会を続けてたくさんの方に参加して頂けるような施設を目指していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	トラブルがあった時など必ずその情報を伝えることに努めている。	子ども同士で誤った事など解決方法まで伝え、安心して通っていただけるよう努力したい。また、職員間で話し合い同じトラブルがないよう努めていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	虹の丘新聞を毎月一回発行している。本社よりも発行されている。	子どもたちの活動の様子を新聞に載せ、楽しく活動できている様子を伝えていくことを続けていきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	保管庫に入れ、十分に注意している。	今後も個人情報には十分に気を付けていく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	どのようにしたら子どもたちに伝わるか、何を求めているかを常に考えている。	子どもたちの思いに寄り添うことを大切にすることで、表情や発する言葉から気持ちをくみ取ろうと努力することを全職員が大切にしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所に招待することはできていないが、地域を散歩したり、広場を使わせて頂いている。	今後事業所の行事を計画し、地域の方々に来て下さるような活動を行っていきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	契約時に保護者に説明している。職員にはマニュアルを読むよう周知している。	年に一度マニュアルを改定し、常に新しい対応ができるよう努めていく。

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に、訓練を行っている。(土砂災害・地震・火災)	消防署の方にご協力頂き、訓練を行えている。これからも続けていきたい。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	本社で虐待防止研修を行うときに、必ず参加している。	職員研修に参加したら、レポートを書くなど振り返ることや、他の職員にも伝達する機会を作り、常に虐待防止が意識できるようにしていく。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	現時点で身体拘束を必要とする場面はない。	今度必要な事が出てきたときは、説明責任を果たし、支援計画に記載していく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者より診断書等を頂き、対応の仕方の説明を受け、誤飲の無いよう気を付けている。	アレルギーの薬やエピペンを持つ子など様々なので、どの職員も同じ対応ができるよう心掛けている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	細かく記入することを心掛けている。朝礼や会議で振り返るなど全員で考える時間を作っている。	グラフ化することで、より気を付けなければいけない時間帯等が分かるため定期的に行っていく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年9月

事業所名 放課後等デイサービス虹の丘

	チェック項目	実数			割合	
		はい	いいえ	合計	■ はい	■ いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	8	88%	13%
	2 職員の配置数は適切であるか	8	0	8	100%	0%
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	8	100%	0%
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	8	100%	0%
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	8	100%	0%
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	8	100%	0%
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	8	75%	25%
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1	8	88%	13%
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	8	100%	0%
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	8	100%	0%
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	8	100%	0%
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	8	100%	0%
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2	8	75%	25%
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	8	88%	13%
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	8	100%	0%
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	8	75%	25%
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	8	100%	0%
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	8	100%	0%
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	0	8	100%	0%	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	8	100%	0%	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	0	8	100%	0%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	2	8	75%	25%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1	8	88%	13%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2	8	75%	25%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	8	100%	0%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	8	38%	63%
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	1	8	88%	13%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	8	100%	0%
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	0	8	100%	0%
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	8	100%	0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	8	100%	0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	8	88%	13%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	8	100%	0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	8	88%	13%
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	8	100%	0%
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	8	100%	0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	4	8	50%	50%
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	8	100%	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	8	100%	0%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	8	100%	0%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1	8	88%	13%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	8	100%	0%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	8	100%	0%